



室っ子だより

～ 私たちの学校を私たちが創る ～

文責 校長

日頃より本校の教育活動に温かい御理解と御協力をいただき、心より感謝申し上げます。

7月17日で前期前半が終了し、子どもたちは夏休みを迎えます。この4か月を振り返ると、子どもたちは日々の学習や学校生活の中で、多くのことを学び、心も体も大きく成長しました。

朝、元気にあいさつを交わす姿、授業で友達の考えを最後まで聴き、自分の思いを伝えようとする姿、縦割り班活動で下級生を気遣う高学年の姿、そして上級生を頼りながら安心して活動する下級生の姿など、学校のあちこちで温かな関わりが見られるようになりました。一人一人の小さな成長が積み重なり、室小学校全体に優しさと笑顔が広がっていることを大変うれしく感じています。

6月の人権月間では、学年ごとにテーマを設定し、全校で学びを深めました。相手の話を最後まで聴くこと、自分との違いを認めること、困っている友達に声を掛けることなど、子どもたちは日々の生活の中で実践しようと努力しています。このような積み重ねが、「ともに生きる力」を育み、誰もが安心して過ごせる学校につながっていくものと考えています。

本校では、「私たちの学校を私たちが創る」を合言葉に、子どもたち一人一人が学校づくりの主人公となることを目指しています。自分で考え、仲間と協力し、よりよい学校生活をつくろうとする姿は、これからも大切に育てていきたい力です。

夏休みは、学校ではできない貴重な経験ができる期間です。読書やお手伝い、地域での体験、家族とのふれあいなど、一つ一つの経験が子どもたちの成長につながります。健康と安全に十分気を付けながら、有意義な夏休みを過ごしてほしいと願っています。

保護者の皆様には、前期前半の教育活動に対し、温かい御理解と御支援をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。夏休み明け、一回り成長した子どもたちと笑顔で再会できることを、教職員一同楽しみにしています。

